

114  
A 3419



十年六月十四日

岩崎少書記官

大正十一年六月

輔  
大書記官  
國積局長

於倫敦金貨運轉之儀在西京大久保  
伊藤兩參議、照會按

紙幣抵當準備金貨之儀方ハ、紙幣流通  
梗塞ナキノ際ニ當リ、宜シク之レラ、廣クニ  
理財上遺憾ニ至リ、豫テ在倫敦領事南保  
囑ニ右金貨運轉ノ方法、如何ニ爲ス、般別紙  
甲、辨ニ通回、其ノ之、依テ、勸考、其、英國公債証券



之様ハ世界無之ニ確定ナル者ナシハ此際準備金  
貨凡千萬圓ヲ同所へ送り之レラハ右証券ヲ  
買収シ年々付生レ所ノ利金ヲ以テ時價低下ノ機  
ヲ按テ我新舊外債証券ヲ買収セハ之ヲ内ニシテ  
準備金貨之原數ヲ減セバ一旦外幣匯上何等  
ノ差異ヲ生ズ可キ氏ハ速ニ之ヲ回輸スルノ便アリ之レヲ  
外ニシテハ漸次外債ノ額ヲ減シ從テ為換騰貴ノ  
際ニ當リ聊カ金貨外出ノ憂ヲ拒キ可申亭一舉  
兩得ニ展致ト存ル依テ別紙甲乙兩相添此  
殿及此在決其旨聊無任伏藏其具因以示諭  
五成及此旨及此照會也

明治十年六月 日 大隈大藏卿

大久保參議殿  
伊藤參議殿

近テ方今西南ノ事件ニ付テハ外國貿易上  
自然非帯ニ影響ヲ生シ輸出物品ヲ以テ外國  
債償等ニ充ルノ目的ニ或ハ實施ニ難キ場合  
可有之哉ニ難計一就テハ豫備ノ一端トモ  
可成亭前文ニ考按ニ及ヒ余属旨是也  
此意知有之否也旨リ添也



金貨壹千萬圓

此量目五拾三萬五千八百三拾三オンス三トニリ

純金ニシテ四拾八萬二千二百五拾オンス

右ラ英金本位(金十一  
混合物一)ニ直シテ

此量目五拾二萬六千九拾オンス九ト志リ

相庭 志オンスニ付七拾セシテ九オンスニシテ

代英金貳百四萬六千三百七拾四磅八シロクハオンス

内 船賃保險料其外手数料トモ百分三

英金四萬九百五拾五磅九シロク九オンス引ク

英金貳百萬五千三百四拾八磅八シロク九オンス

此英金ヲ以テ英政府公債証書ヲ買ハ其相庭

百磅ノ証書ヲ拾四磅替ニシテ左ノ証書高ヲ買得ル

公債  
有之  
スレハ  
ヲ以テ



大 藏 省

山 5

圓

萬五千八百三拾三オンス二ト三リ

八萬二千二百五拾オンス

(金十一) 混合物一) = 直シテ

萬六千九拾オンス九ト七リ

七オンスニ付七拾セシリク九(オンス)ニシテ

四萬六千二百七拾四磅八シリンク八(オンス)

保檢料其外手數料トモ百分三

四萬九百貳拾五磅九シリンク九(オンス)引之

三百四拾八磅拾八シリンク九(オンス)

英政府公債証書ヲ買其相庭

八拾四磅 替ニシテ 左ノ 証書高ヲ買得ル

倫敦ニ於テ金塊賣却現存庭

英金本位 七オンスニ付

七拾セシリク九(オンス) 明治九年一月申付庭 平均 七拾セシリク九(オンス) 同年四月申付庭

公債証書を度南領事報告書ニ平均九拾五磅四分三七有之別紙十一年間証書高價表ニ寄リ計其平均九拾三磅。四三七ト其出仕後今九拾四磅ヲ以テ其定仕仕事



証書高貳百六十三萬三千四百九拾九磅拾八...

此利子

英金五萬四千磅

於...

但年利三...

大... 莊... 省...